



太陽の国メキシコにて 思うこと

日墨留学

酒井 孝祐

SAKAI Kousuke

平成21年11月 総務省採用
情報流通行政局地上放送課
平成23年 9月 大臣官房総務課
平成25年 7月 総合通信基盤局総務課
平成27年 4月 総合通信基盤局電波部基幹通信課
平成28年 7月 現職

『現在、メキシコにて勉強中』

私は今、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画の研修生として、メキシコ国立自治大学に留学し、スペイン語等の習得に励んでいます。各国から集まった年齢、職業等の異なるクラスメイトと議論することは刺激的であり、国際的な幅広い視野を養う良い契機となっています。

また、ここメキシコにおいても、人々はSNSで交流し携帯のアプリでタクシーを呼ぶなど情報通信技術 (ICT) は国民生活に欠かせないものとなっています。私自身、日本から遠く離れていながら、日本の家族や友人と気軽に連絡を取り合っている現状から、ICTの発展が私たちの暮らしを支えていることを実感しています。

このような人々の暮らしをより便利に豊かにするICT分野を所管しているのが総務省です。ICTの裾がりとともに、今や活躍の場は世界へ広がっています。私もまた、この研修を通じて習得したスペイン語を今後の業務に活かしていきたいと思っています。

『やりがい×成長の機会＝総務省』

「暮らしの中に総務省」というキャッチフレーズのとおり、総務省は人々の暮らしに直結する実に幅広い業務を所管しています。入省後、主に情報通信行政に携わってきましたが、特に印象に残っているのは地上テレビ放送のデジタル化です。誰にとっても身近であり、災害時には重要な情報入手手段となるテレビ放送の変革に携わる責任を強く感じながら、国民の協力の下、様々な業界と連携し、職員が一丸となってデジタル化を実現した際には大きな達成感を味わえました。

これはほんの一例ですが、このように国家公務員として働く上で不可欠とも思える、「現在及び将来の人々のために働くやりがい」を強く感じられる多彩な業務に溢れている、それが総務省の魅力だと感じています。また、多彩な業務がある分だけ成長の機会も多いといえます。就職という岐路に立つ皆さんが次に輝く舞台として、大きなやりがいと成長の機会に溢れた総務省を選んでいただければ幸いです。



Private Time

授業の予習・復習の他、土曜日はメキシコ人の友人達と食事に出かけるなどして過ごし、日曜日には所属しているサッカーチームでリーグ戦に出場し汗を流しています。また、長期休暇の際には国内の遺跡をよく訪れています。ピラミッドの頂上からの景色を眺めながら古代の人々の生活に想いを馳せると、悩みなども吹き飛びます。

Some One Week

Monday

スペイン語の授業で晩婚化について議論。多様な価値観があり面白い。

Tuesday

メキシコの地理の授業で大学周辺を散策。壁画の意味など実に興味深い。

Wednesday

授業後、友人と屋台でタコスを食べながらお互いの授業について情報交換。



Thursday

メキシコ伝統舞踊の発表会。週3日で練習してきた集大成、いざダンス!

Friday

授業後、来週からの学期末試験に備え、友人と図書館で勉強。